



# AA日本ニューズレター



AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス TEL03-590-5377

〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橋ビル 9F FAX03-3590-5419



〒100-91  
東京都中央郵便局  
私書箱 916

## No.41

## 第5回GSMを終わって

### 20周年に向けての日本のAAの棚卸し

1993年6月25日から27日にかけて、例年どおり東京深川のホテルB & Gにて、各地のAAの問題を分かち合い、日本のAA全国の動きを決定すべく、各地域から選出された代表者である地域評議員18名、J S Oオフィス幹事2名、J S O2名、WSM評議員2名、G S M事務局3名、各地オフィス職員6名、その他、前評議員、オフィス・ボランティア、オブザーバー等が一堂に会して、話し合いと分かち合いが行われた。回を重ねるごとに、討議内容は一層充実し、参加する評議員もその使命を自覚して積極的に討議に参加し、一人一人の熱意やエネルギーが確実に伝わる充実した集会だった。

とはいえ、現在の日本のAAのサービス構成においては、AAの全体的な活動について、全国的に選出された代表者によって話し合われる機関というのは、年に1回開催されるこのG S Mだけしかない。そのため、決めなければならない事項、検討しなければならない議題があまりにも多くなり、各地で問題となったことをG S Mで分かち合う時間がほとんど取れなかったのは非常に残念であった。サービス構成の緊急の整備が望まれるところである。

日本全国のサービスオフィスのスタッフが、日常のオフィス業務の改善のため、経験を分かち合おうというセッションも、時間内にそこまでの議事が進まなかったことも悔やまれた。

また、今回から事務局を実質的にJ S Oに移し、各評議員には事前に資料を送付し、各分科会の司会からも前もって検討議題を提出してもらい、担当評議員には課題と資料を送付し、当日、すぐに検討に取り掛かれるよう、配慮がされたく、全体的には、どの議題についても検討する時間が十分とは言えなかったが、経費の面からも、各地の評議員がG S Mに提供できる時間の限度の点からも、これ以上G S Mの日程を延長するのは現実的でなく、やはり、一層の議題の整備の必要が認識された。

具体的な報告に進もう。

オープニングはランチパーティミーティングであ

る。司会者が趣向をこらしてリードするなかでなごやかに愉快に進むこのミーティングは、各評議員が旧交を温め、また、新しい評議員との友情を開く場となっている。

続いていよいよ全体会議である。まず広報関係の、「協力すれど従属せずの協力とは / 専門家および関係者の要望にどう答えるか」については、まだAAの存在が知られていない地域でAAの行事に関係者を含め広く参加を呼びかけるには、関係諸機関の後押しや協力がかなり必要になるが、それをAAの伝統の範囲内に押さえるにはどうしたらよいかが話し合われた。また、関係機関からのAA紹介の依頼は、平日の昼間を希望されることが多く、応じられるメンバーがないことが各地に共通した問題だった。いずれにせよ、AAとしてわたしたちは関係機関に何を伝えるのかを再認識する必要があることが確認された。

メダルは、J S Oとしては現在の在庫分をもって製作、販売を打ち切ることになったが、その詳細についてはすでに各代議員に詳しい資料を送付してあるので、そちらを参照していただきたい。このG S Mでは、各メンバーがメダルをどれほど大事にしているか、また、メダルがどれほどメンバーのソブラエティにとって重要な位置を占めているかという地域での意見が評議員によって表明されたが、それでも最終的には、AAのJ S Oとして、AA承認以外のものを扱うのは、AA内外にも混乱を招くものであり、これについてはJ S Oがどれほど批判や非難を受けようとも、今までのメダル販売の経緯について棚卸しを行い、各メンバーに納得してもらおう努力を時間をかけて行っていこうという結論に至った。

月刊誌の「BOX 916」のカレンダーの掲載条件は、広報紙を発行している関東地域ではグループや地区単位開催のもの、それ以外の地域ではグループ単位で開催のものは原則的に掲載しないという方針をとっていたが、グループや地区開催の催しでも広い地域にお知らせする必要のあるものが数多くあり、今後はそのイベントの広域性の判断をBOX編集委員会に任

せ、主催単位がどこであれ、広く知らせる必要のあるものは掲載されることになった。

AAではすっかり定番になっている「アルコール中毒(者)」という表現は、現在医療分野でも使用されておらず、また、まだ苦しんでいるアルコールの否認の材料にもなるという問題があり、ではどのような表現にするかという話し合いが行われたが、アルコール中毒という言葉に対するメンバーの思い入れも強く、明確な結論には達しなかった。ただ全体的には、原語のアルコールリズム、アルコールをそのまま使っていこうという方向が提示された。

各地域の評議員のGSM参加費用については、分担金制度が設けられており、地域が公平に費用を分担しているが、オフィス職員の参加費についてもこの制度が導入されることが満場一致で決定された。

JSO関連では、これまでの自薦のオフィス幹事に替わるJSOオフィス運営委員会公選システムが採択され、ノン・アルコールを含む運営委員が全国的に公選されることになった。

ワールドサービスミーティング評議員選出選挙は推薦候補者がなく、次年度のGSMに再度期待がかけられることになったが、それでも候補者がなかった場合には、現在の前期評議員1名が次回のWSMに参加する可能性もあることが確認された。

20周年については、このGSMの場で全国の評議員の支援を得て開催の決定に至ったものでもあり、全国的な協力と支援で、20周年を盛り上げるため、各地からの希望や要望をどしどし出して、全国的な協力と支援をもって20周年を盛り上げていこうということが再確認された。

また、各分科会の採択事項は、\*ネットワーク委員

会をサービス・ネットワーク委員会という名称に変更すること、\*財務委員会で、献金について一目で分かりやすいリーフレットを作成すること、\*「12のステップと12の伝統」の改訳を進めること、\*「ミーティング・ハンドブック」の改訂については文書委員会に任せること、\*方針を分科会から切り離して全体会議とし、後期評議員は全体会議のメンバーとなって、事務局と協力し、GSMのプログラムの作成にかかわっていく、以上である。

採択事項のほかにも、専門家協力や広報の分科会では、あくまでも12番目のステップ活動は自分たちのお金で行うべきことであり、それが回復の喜びにつながること；本来だれもが受け入れられるはずのオープン・ミーティングなのにマスコミ関係者が入るのを断られたが、グループは本当に「オープン・ミーティング」の意味を把握して「オープン・ミーティング」にしているのかももう一度考えてみる必要があることへが確認された。

また、敗務の分科会では、個人の回復に献金がどう関わりがあるのか、そのことを地域にどう伝えていったらよいかという、回復につながる献金という側面からの話し合いが行われ、充実したものとなった。

方針では、まさに日本のAAの今後の動向にかかわる話し合いがされ、各評議員の熱意と知識が存分に分かち合われた分科会だった。

以上はほんの一例だが、このように各分科会ではグループにとって身近な問題が幅広く話し合われた。詳細については「GSM報告書」に譲りたい。(現在作成準備中です)。

GSM事務局

## 新刊案内

### ビッグブックポケット版 全文収録カセットテープ(全7巻)

ビッグブックポケット版の朗読テープがこのほど完成し、既に頒布を開始しています。聴覚からのビッグブックへのアプローチは、とても斬新な感覚、と好評です。音声もクリアーです。

頒布価格	9,800円
送料	600円

このテープは、AA出版運用資金から調達されました。

発行：日本ゼネラルサービスオフィス(AAJSO)

## 1992年度アメリカ/カナダ

## AAメンバーシップ調査

3年毎に行われるこの調査の目的は、現在のAAメンバー構成の特徴をAAメンバーに伝え、AAについて関係機関や一般の人達にお知らせすることで、アルコール依存症でまだ苦しんでいる人達にメッセージを運ぶ一助とするためである。

## 【ソプラエティの長さ】

5年以上 35% 1年から5年 34% 1年以下 31%

## 【性別】

全メンバー 女性 35% 男性 65%  
30才以下 女性 43% 男性 57%

## 【AAにつながったのは】

AAメンバーを通して	34%	自分から	29%
治療施設	27%	家族	21%
カウンセリング	9%	医師	7%
裁判所	8%	職場	6%
AA以外の友人知人	4%	AAの出版物	3%
アラノ、アティーン	4%	矯正施設	3%
新聞/雑誌/ラジオ/テレビ			2%

## 【ミーティング出席回数の平均】

週に2回半

## 【メンバーの年齢】

21才以下 2% 21 30才 17% 31 40才 32%  
41 50才 25% 51 60才 14% 61 70才 8%  
70才以上 2%

AAメンバーの平均年齢は42才

## 【メンバーの職業】

管理部	11%	教育者	3%	医師	2%
社会事業	6%	技術専門職	19%	家事	5%
セールス	6%	技術職人	5%	労働者	10%
事務職	5%	輸送関係	2%	定年退職	9%
無職	11%	就労不可	5%	その他	1%

## 【ホーム・グループ】

メンバーの83%はホームグループに所属している。

## 【スポンサーシップ】

メンバーの78%はスポンサーがいる。

その内72%は90日以内にスポンサーをもった。

## 【AAにくる前に受けた援助】

63%のメンバーが、医療、心理、スピリチュアルな面で治療、カウンセリングを受けた。その内80%が、AAに方向を向けるうえで、それが非常に役立ったと回答している。

## 【AAに来てから受けたAA以外の援助】

AAにつながってからも、56%が前問同様の治療、カウンセリングを受けている。その内87%がアルコール依存症からの回復の上で非常に役立ったと回答している。

## 【ホームドクターとの関係】

メンバーのホームドクターの74%はその患者がAAメンバーであることを承知している。

## となりの国のAAから

## 韓国AAパート



第二回コンベンションの申し込み書ができましたのでお送りします。会場はポーチンにあるベアーズタウンリゾートです。ソウルからも近く、設備も満足いただけると思います。大規模な屋内プールもありますので、どうぞ水着をお忘れなく！

ソウルからは、貸し切りバスをチャーターする予定です。(有料\$2,50)

ぜひ日本からもたくさんの仲間の皆さんが参加くださいますように。

AA韓国インターグループ

第2回インターナショナル・コンベンション

日程： 1993年10月15日午後5時～17日正午

登録料：US\$20

宿泊費：US\$11～\$44(5人部屋～シングル)

歓迎会：US\$20(16日午後6時30分～。立食パーティー、スピーカーズ・ミーティング)

食費：US\$15

なお、貸し切りバスの希望の有無は必ず前もってお知らせください。

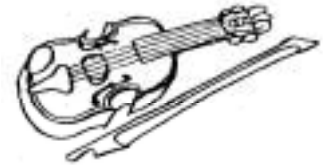
# AA 日本 20 周年記念集会実行委員会からのお知らせ

AA日本20周年記念集会実行委員会では、会場となる大宮ソニックシティのメイン会場の大ホールを初めとし、予定しているプログラムに使用する中小のホールや、会議室並びに楽屋までもつづきに見学し、広さ、収容人員は勿論、さまざまに機能などの説明を係員から懇切に受け、開催に向けてのたまかなイメージを得たからなのか、それぞれの委員会がいよいよ活発な実務的活動に着手いたしました。その、手初めとして、全国のグループに向けてこの記念集会に対してアンケートを募集したところ、予想外に早く返信も戻っております。

それだけ、全国のメンバーの関心も強いものと思われまますので、ますます私たちは意気込みを強くして、しかも着実に足元を見据えた開催準備に向けて邁進して行きたいと念じておりますが、このような集会を成功に導くか否かは、一重に参加する人達が、あるいは残念ながら参加できない人においても、これは自分たちの手になる、自分たちのための、集会であるという認識と、これからAAに来る人達のために、今の私たち一人一人が何ができるだろうという意欲に支えられたものであるかにかかっていると私たちは信じています。

アンケートの締め切りと、このニューズレターの発行は同時になることと思いますが、そのアンケートの結果から、それぞれのグループの人達が何をこの集会に望んでいるかということをも十分にくみ取

り、プログラムその他に関してもできるだけ多くの機会を捕らえ皆様にフィードバックして行くつもりであります。どうぞ、皆様方におかれましても、アンケートとは別にお気付きの点やご要望がありましたら、どしどしJ S O内の事務局までご意見をお寄せください。



## AA の未来に対する

### われわれの責任…



共同の福利を第一にすること

共同体の一体性を守ること

われわれとこれからやって来る仲間

の命がかかっているのだから

## JSO オフィス幹事会より



- 6月、7月の幹事会では下記のことを話し合った。
1. 5月末日までに集まった、秋のオフィス幹事公選システムのアンケート結果をまとめて、現オフィス幹事会としての最終案を作成するために話し合った。その結果を第5回G S Mで討議したが、最終案の通りに決定したため、7月の会合で、ノンアルコールの運営委員について話し合った。
  2. 従来切手の管理を、現金若しくは金券と同様

- に厳重にすることとし、使用の都度記入することとした。
3. AA日本20周年記念集会についての関心が少しずつ高まってきたので、現オフィス幹事も実行委員会に積極的に出席していくことにした。
  4. 8月のオフィス幹事会は夏休みにする。
- 以上



J S OではAAのサービスマークの特許庁への登録申請をAA WORLD SERVICE INC の名義で9月30日に済ませました。審査には1~2年かかりますが、左記マークを機会を捉えてご使用下さい。